

## アンサンブルプロジェクト リコレクション シンポジウムに参加し研究成果を発表しました (2019/12/18-19)

テーマ：研究所若手アンサンブルプロジェクト

場所：東北大学 加齢医学研究所スマート・エイジング棟

URL：<http://web.tohoku.ac.jp/aric/news/events/20191120.html>

12月18日（水）、19日（木）に東北大学加齢医学研究所で開催された「アンサンブルプロジェクト リコレクション シンポジウム」において、今年度にグラントを獲得した当研究所所属の研究者が研究発表を行いました。当該シンポジウムでは、部局や分野の違いを越えた新しい研究グループの誕生や、研究に新たな展開を加える機会の提供等を目的の1つとしています。

研究所若手アンサンブルプロジェクトについては、当研究所から委員として佐々木大輔 助教（情報管理・社会連携部門）が参加しており、また所内にもワーキンググループが設置されています。引き続き当研究所では、研究所間の連携を深化させ、文理融合の学際研究を推進するべく、研究所若手アンサンブルプロジェクトに積極的に参加していきます。

【今年度にグラントを獲得した当研究所所属の研究者による研究発表】（プログラム順）

**安田 容子 助教**（人間・社会対応研究部門）：

江戸時代の大火を対象とした季節変動と水文学的要因分析

**佐々木 大輔 助教**（情報管理・社会連携部門）：

火山災害における経済被害額の算定手法の精緻化に向けて：

インドネシア・クラカタウ火山を事例に

**杉安 和也 助教**（地域・都市再生研究部門）：《研究分担者が代理で発表》

次世代通信規格による日常・非常時の横断的運用を想定した

定点観測防災IoT機器開発に関する共同研究



集合写真